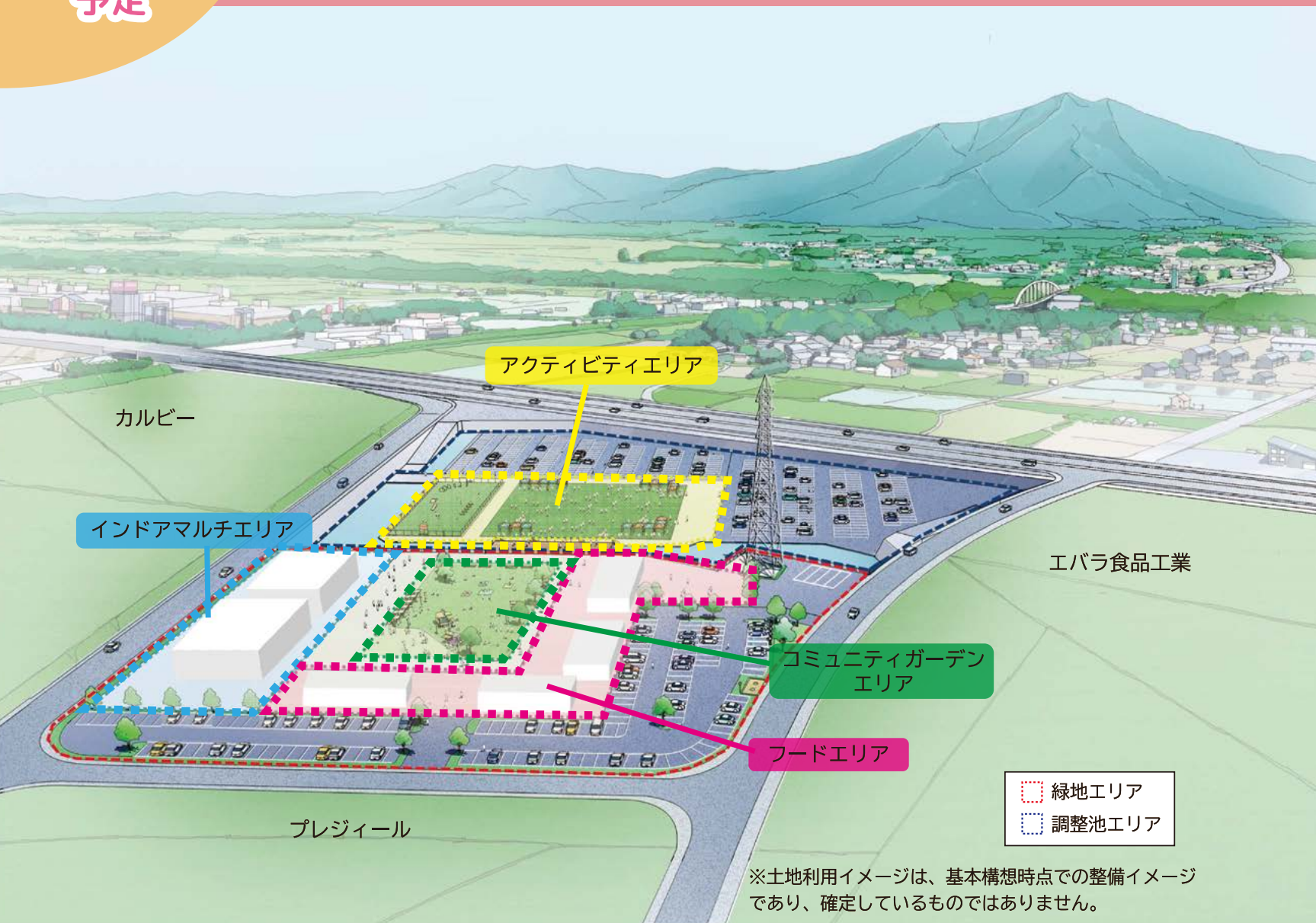


令和11年
～12年
オープン
予定

「ここでしか味わえない体験」を生み出す 下妻発 食と健康の新たな 誘客・交流拠点プロジェクト始動



皆さまからのご意見を募集します

今回策定した「しもつま中央工業団地緑地・調整池利活用基本構想」は、施設計画や運営の在り方を検討していくための方向性を示したものです。今後、この基本構想をもとに、施設の具体的な内容を定める「基本計画」の策定を進めていく予定です。そこで、基本計画策定を進めるにあたり、市民のみなさまからのご意見を募集します。お寄せいただいたご意見は基本計画策定の参考として活用させていただきます。
※この意見募集は、事業主体である一般財団法人下妻市開発公社が実施するものであり、市の要綱や法令に基づく制度的な意見公募手続ではありませんので、あらかじめご了承ください。

募集期間：2月27日（金）まで
閲覧場所：一般財団法人下妻市開発公社ホームページまたは下妻市役所（3階）企画課
意見の提出方法：Eメール、郵送または直接持参

問 企画課（下妻市開発公社）TEL:0296-43-8367

詳しくは一般財団法人
下妻市開発公社ホーム
ページをご覧ください。



下妻市が進めてきた「企業誘致」が大きな実を結んでいます。新たに竣工した「しもつま中央工業団地」の緑地・調整池エリア（約5.1ha）を、市内外の多くの方が集い、「食」と「健康」を楽しめる新たな誘客・交流拠点として活用する計画を進めています。このたび、その目指すべき姿を描いた「しもつま中央工業団地 緑地・調整池利活用基本構想」を策定しました。“ここにしかない”魅力ある新しい街の拠点づくりがいよいよ動き出します。



1 なぜこの場所につくるの？

地域経済の活性化や雇用の創出、将来的な税収増加を図るため企業誘致を進めてきたところ、「しもつま中央工業団地」には食品系企業のカルビー、エバラ食品、プレジール3社の立地が決定しました。この場所は国道125号と294号が交差する交通アクセスに優れた場所であり、何より筑波山を望む絶好のロケーションに恵まれています。こうした好立地のメリットを活かし、進出する企業と地域が連携して市民の皆さまをはじめ多くの方々との憩いの場となるような誘客・交流施設の整備を目指していきます。

2 どんな場所になるの？

五感で楽しみ 人と人がつながる
心も体も満たされる空間

◆ 市民の暮らしを豊かにし、下妻を知る入口に
「憩いの場」として、市民の暮らしの質を高め、市外の方にとっても、市の魅力にふれるきっかけに

◆ 「食」と「健康」がテーマの多世代の居場所づくり
食にまつわる体験や体を動かせる空間を通じて、子どもからシニアまで集い、楽しめる場に

◆ 日常と非日常が交わるオープンスペース
気軽に立ち寄れて、週末にはイベントや体験も楽しめる。多様な過ごし方ができるオープンスペースへ

